

SCIENCE AGORA 2018

サイエンスアゴラ2018

協賛金趣意書

目 次

1.	主催者挨拶	3
2.	サイエンスアゴラ 2018 の概要	4
3.	募集要項	6
	サイエンスアゴラ 2018 協賛申込書	8

1. 主催者挨拶

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より科学技術振興機構（JST）の活動にご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

私たち JST は、研究開発戦略の立案、研究開発の推進、地域創生や人材育成への取り組みなど、我が国の科学技術イノベーション政策の実現に向けて幅広い事業を推進しています。

世界はいま、知識や価値の創造プロセスが大きく変貌し、経済・社会の構造も大きく変化する、まさに「大変革時代」とも言うべき歴史的な大転換期を迎えています。そして、2015年に国連が採択した「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」に代表されるように、貧困、エネルギー、気候変動、資源、ジェンダーなど、克服しなければならない様々な課題に直面しています。持続可能で希望に満ちた未来社会をつくりあげるため、課題解決に取り組んでいくことは、我が国を含む世界全ての国が対応しなければならない問題です。

課題を解く鍵として、科学技術イノベーションに強い期待が寄せられています。しかしながら、複雑に絡み合うこれらの諸課題へは、政府機関やアカデミアだけが取り組んでも真の解決には辿り着きません。エコシステムを支える産業界、そして課題に直面する一般市民を含めた多様なステークホルダーが対話・協働して、それぞれが持つ知恵と力を結集して、総合的な観点から取り組んでいく必要があります。

JST は 2006 年より、社会と科学とをつなぐ取り組みとして「サイエンスアゴラ」を開催しています。様々な企画を通じて社会に向けて科学の楽しさ・大切さを伝えることはもとより、研究者と社会との間のコミュニケーションや相互理解の促進に取り組んで参りました。

今秋開催する「サイエンスアゴラ 2018」においては、課題解決に向けたセクターや領域を越えた共創（Co-design/Co-creation）の重要性を特に強く訴えるため、「越境する」というテーマを掲げ、これに資するセミナーやトークセッション、展示や実演などを実施する予定です。「サイエンスアゴラ 2018」における出会いや対話を通じて、産官学そして市民がともに未来社会をデザインし、実現に向けて取り組んでいく、そのような連携関係の構築に貢献することを目指しています。

「サイエンスアゴラ 2018」をより充実した取り組みとし、所期の目的を達成するためには、JST の力だけでは不十分であり、皆さま方のご理解とお力添えを賜り、ともに共創の場をつくりあげていくことが必要と考えております。そのため、今回よりご賛同いただける方々からのご協賛を募ることといたしました。

ご賢察のうえ力強いご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 8 月
国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長

濱口道成



2. サイエンスアゴラ 2018 の概要

◆サイエンスアゴラとは

サイエンスアゴラとは、あらゆる人に開かれた“科学と社会をつなぐ広場”です。異なる分野・セクター・年代・国籍を超えた関係者をつなぎ、さまざまな人たちが各地で主体的に推進する活動を伝え合い、学び合い、助け合う場です。多様な価値観を認め合いながら、対話・協働を通じて、これからの「社会とともにある科学」と「科学とともにある社会」の実現を目指します。

※アゴラ (agora) は古代ギリシャ語で「広場」の意味

◆サイエンスアゴラ 2018 のテーマとトピック

サイエンスアゴラ 2018 では昨年に引き続き「越境する」をテーマとして、学問分野、立場、国、文化、世代の壁を越えて私たち一人一人が心豊かに生きていくために科学技術をどう取り入れていくのか、科学技術には何ができるのかを考えることを目指し、各企画において、専門とする・重視する領域と、越境したい領域の両方を意識して対話を行います。

サイエンスアゴラ 2018 では、対話・協働の深化の手段として、次に設定したトピックに基づき企画公募を実施しております。具体的な未来の社会の姿を見据えることで、問題提起にとどまらない、問題解決に向けての対話を促進します。

テーマ 「越境する」

トピック① Society 5.0

キーワード：IoT、AI、ICT

IoT や AI などの発達は、どのような未来社会を創り出そうとしているのでしょうか。新技術を活用した社会の変化や新しい価値観、課題について対話する取り組みを募集します。

トピック② 地球

キーワード：地球規模課題、自然環境、気候変動、生物多様性、経済、エネルギー

地球規模の普遍的課題について、科学技術イノベーションが果たす役割は何でしょうか。世界規模の長期的な社会課題について知り、その解決について考え、対話する取り組みを募集します。

トピック③ 安全・安心

キーワード：自然災害、健康、人権、地方創生、少子高齢化、セキュリティ

人々が安心を感じられる社会はどのようにしたら築いていけるのでしょうか。時代の変化を捉えた身近な喫緊の社会課題について知り、その解決について考え、対話する取り組みを募集します。

トピック④ 共に学びつながる

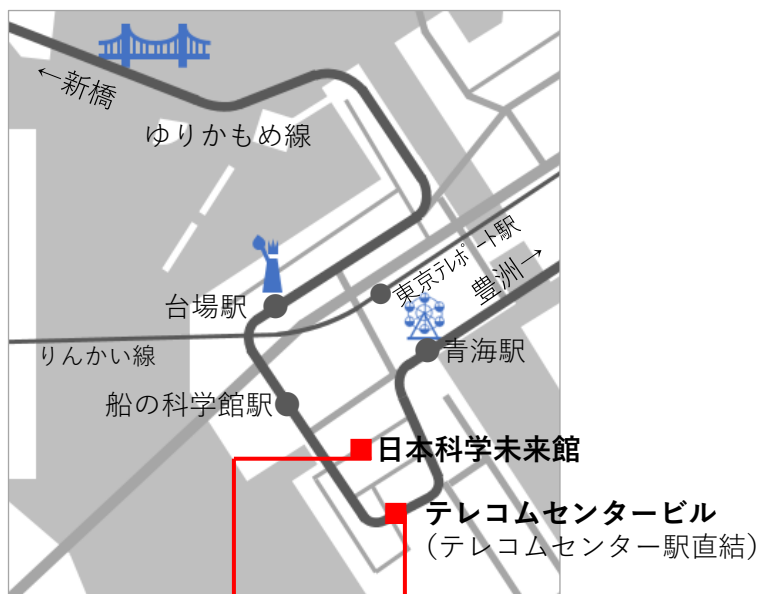
キーワード：関心喚起、教育、次世代、学際

日本や世界の課題に関心を持ち、皆で今後の社会をつくるには、学び合い、行動を起こすことが大切です。対話を通して、人々が活躍する未来をとものに切り拓いていく斬新な取り組みを募集します。

◆サイエンスアゴラ2018 基本情報

会 期：2018年11月9日（金）～11月11日（日）／10:00～16:00（初日は13:00～17:00）

会 場：日本科学未来館（セレモニー会場）、テレコムセンタービル（メイン会場）
（お台場・テレコムセンター駅（ゆりかもめ）周辺地域）



■主な日程（予定）

日時		会場	
		セレモニー会場 「日本科学未来館」 	メイン会場 「テレコムセンタービル」 
11月9日（金）	13:00～17:00	開幕セレモニー・基調講演	
11月10日（土）	10:00～16:00	連携企画	ブース・セッション
11月11日（日）	10:00～16:00	連携企画	ブース・セッション

参加者：小中高（児童・生徒）、高専・大学（院）（学生）、企業関係者、大学/研究機関関係者、行政関係者 など

協 力：株式会社東京レポートセンター、株式会社フジテレビジョン、ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社、国立大学法人京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

後 援：内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省、日本学術会議、国立研究開発法人理化学研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、一般社団法人国立大学協会、日本私立大学団体連合会

3. 募集要項

3-1. 協賛プラン

名 称： サイエンスアゴラ2018協賛金

協賛金額： 1口 100,000円とし、何口でも承ります。

- ※ 一旦納めていただいた協賛金はいかなる理由がありましても、ご返還にはお応えできません。
- ※ 事務局では、事業の性格を鑑み、協賛をお申し出いただいた場合であっても、次の内容を含む場合はお断りさせていただきます。
 - (1)政治性のあるもの
 - (2)宗教性のあるもの
 - (3)風俗営業等に関するもの
 - (4)その他実行委員会が適当でないと判断するもの
- ※ 協賛金の多寡に関わらず、協賛していただきました企業様からのサイエンスアゴラに対するご意見などをお待ちしております。頂戴しましたご意見はサイエンスアゴラ推進委員会や事務局で検討のうえ、活用させていただきますたく存じます。

3-2. 協賛企業様のメリット

オープンイノベーションエコシステム構築への貢献

- ・ 多様な人材・ステークホルダーによる知識の結合による、非連続的なイノベーション創造及び社会全体の最適化への貢献

科学と社会の関係深化への貢献

- ・ 来場者一人ひとりが「社会に求められる科学とは何か」を考える場の提供
- ・ あらゆる立場のステークホルダー間の対話・協働の促進

参加者（出展者・来場者含む）に向けた企業ロイヤリティの向上

- ・ 科学と社会の関係深化の支援者としての企業へのロイヤリティの増大

特 典：

	パートナー	協賛機関
	5口以上	1口以上
当日配布資料	貴社（機関）名・ロゴ掲載	貴社（機関）名・ロゴ掲載
公式ホームページ	貴社（機関）名・ロゴ掲載	貴社（機関）名・ロゴ掲載
会場1階の総合受付	貴社（機関）名・ロゴ掲載	貴社（機関）名・ロゴ掲載
その他	動画放映 (アゴラステージ、総合受付横など)	—

※その他、ご要望がございましたら、お知らせください。



3-3. 申し込み

申込方法：下記のURLより次頁の「サイエンスアゴラ2018協賛申込書」をダウンロードしていただき、必要事項を記載のうえ、事務局(agora@jst.go.jp)宛てに電子メールにてご送付ください。
<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>

申込期限：平成30年9月28日（金）

※ 期限後も引き続き承りますが、特典の内容によってはご希望に添えないものがございます。

問合せ先：国立研究開発法人科学技術振興機構 「科学と社会」推進部
サイエンスアゴラ事務局（山本、黒田、高橋）
〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3 サイエンスプラザ
TEL：03-5214-7493 E-mail：agora@jst.go.jp